

# 飯能市先輩職員インタビュー

## ～ 保育士編 ～

### 先輩職員プロフィール



塩田 智華（平成27年度入庁）

健康福祉部保育課 富士見保育所 保育士

#### 【これまでの経歴】

平成27年度 健康福祉部保育課（本庁舎勤務）

平成29年度 健康福祉部保育課 富士見保育所

### 現在の仕事について

今年度は5歳児クラスの担任として、23人の子どもたちを受け持っています。

子どもたちに対しては、「～歳だから」というような見方をするのではなく、一人一人の「今」を見るようにしています。例えば、子どもたちには「昨日できなかったことが今日はできた！」という日もあれば、「昨日できたことが今日はうまくできないな」という日もあります。

子どもたちの日々の変化に気付いて、寄り添ってあげられるような保育を心掛けています。

大変なことももちろんありますが、子どもたちの笑顔を見るたびに「がんばろう！」というエネルギーが湧いてきます。

### 飯能市を志望した理由

飯能市にはすぐ身近にきれいな川、花や緑があって、日常の生活の中で当たり前前に自然と触れ合うことが出来ます。

私はそんな飯能市の環境がとても素敵だと思っていたので、飯能市で育っていく子どもたちにも、この環境がどれだけ素敵な環境なのかということをお伝えしながら保育をしたいと思ったことが、飯能市を受験しようと思ったきっかけです。

## 職場の雰囲気について

新人、若手保育士のことを、所長をはじめ先輩保育士の皆さんがよく気にかけてくださいます。「今日少し疲れてそうだけど大丈夫？」などと先輩から声をかけて貰えることも多いので、仕事の悩みをどんどん相談することができます。

また、所長や主任保育士の先輩達は、若手保育士のことはもちろん保育所内のあらゆるところに目を配っていて、文字通り保育所を支えている存在なのだと感じています。「自分も将来こんな保育士になりたい！」と目標にできる先輩達が目の前にいるので、少しでも近づけるように日々頑張っています。

## 市の保育士としてこれまでの仕事で印象に残っていること

入庁2年目まで保育所ではなく保育課という部署に配属され、保育所への入所に関する業務などを担当したことです。

日々の業務を通じて、子どもたちがどういう手続きを経て保育所に入所してくるのか、保護者の方がどんな苦労をして保育所にお子さんを預けることができるようになるのかを実際に目にしてきました。

「市の保育士は必ず一度そのような部署に配属される」、というわけではありませんが、あの2年間で経験したことや感じたことは、子どもたちを預かる保育士として忘れてはいけないものだと思いますし、そのような業務に市の職員として携われたことは自分にとって大きな財産だと感じています。

## 受験者に伝えたい飯能市の魅力

志望動機でも話したとおり、自然が近くに溢れている環境で子どもたちを保育できることです。

また、飯能市は地域によってそれぞれ異なった地域性があります。それぞれの地域にあった保育を各保育所が行っていることや、障害児通園施設や幼稚園、子育て総合センターなど様々な施設もあるので、保育所とはまた少し違う角度から子どもたちに関わる事が出来るのも魅力だと思います。

